



# 継 灯 式

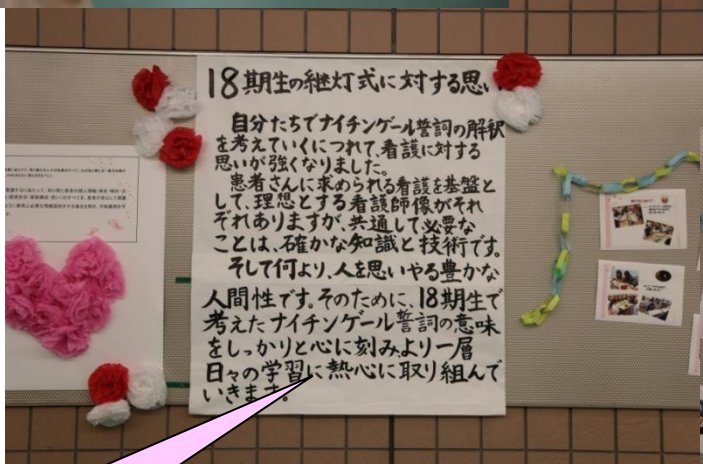


平成 28 年 10 月 7 日、私たち 18 期生は、看護の象徴であるナイチンゲールから灯を頂きました。この灯は、患者さんのために暗い病室でも灯りを照らしていたことから「看護の心の灯」や「生命の灯」とも言われています。誓いの言葉を 18 期生全員で誓い、それぞれが自分の目標に向けて、看護の意思を固めるきっかけとなりました。

よりよい継灯式となるよう、ろうそくを持つ位置や歩き方など細かいところまで意識して練習しました。



先輩から灯を頂きました。先輩の背中を見習って私達も立派な看護師となるように努力していきます。



## 18期生の継灯式に対する思い

自分たちがナイチンゲール誓詞の解釈を考えていくにつれて、看護に対する思いが強くなりました。患者さんに求められる看護を基盤として、理想とする看護師像がそれぞれありますが、共通して必要なことは、確かな知識と技術です。そして何より、人を思いやる豊かな人間性です。そのために、18期生で考えたナイチンゲール誓詞の意味を、しっかりと心に刻みより一層日々の学習に熱心に取り組んでいきます。



みんなの思いが実るように木に見立て、理想の看護師像を書きました。

継灯式委員を中心にナイチンゲール誓詞の意味を考え、継灯式によせて看護に対する思いを表明しました。

初心を忘れることなく、学習を積み重ねていきます！！

